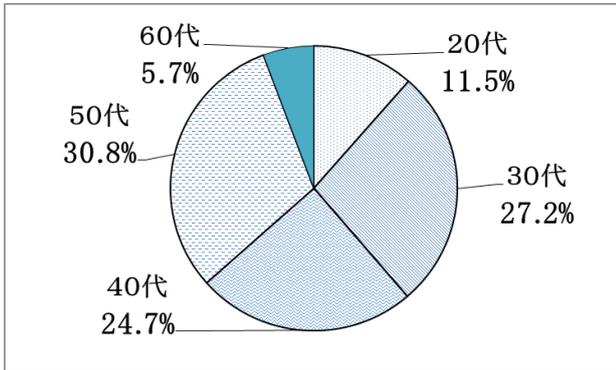
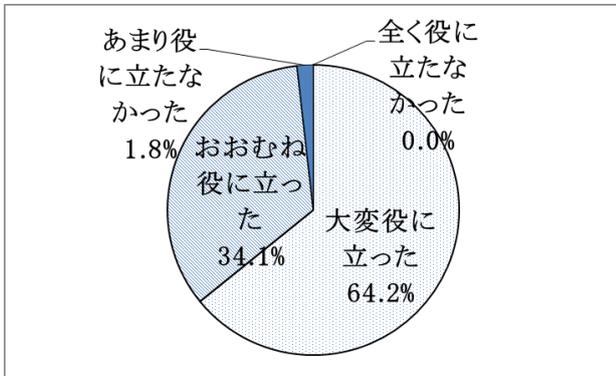


令和3年度 夏季講習会アンケート集計結果（回収数 279名）

（1）あなたの年齢に関して、その年代を教えてください。



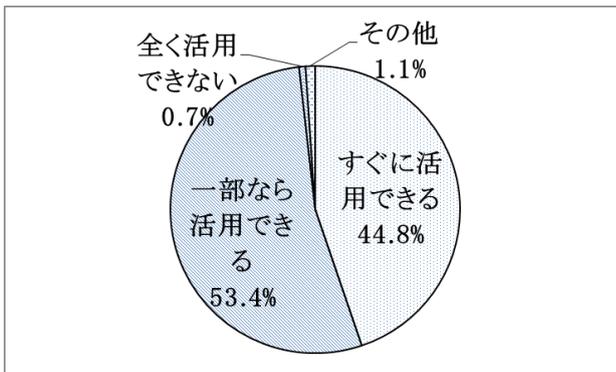
（2）講習会の講義及び実習内容について、あなたはどのように感じましたか。



役に立たなかった理由

- ・既に知っている内容だった
- ・構造解析の演習を詳しく講義して欲しかった。
- ・応用編だったので演習を講義して欲しかった。

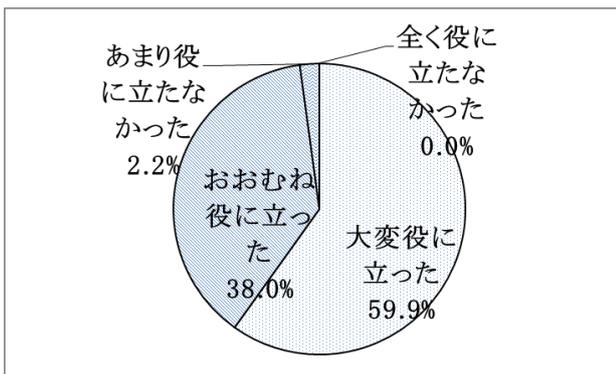
（3）講習会の内容が現場の授業に活用できますか。



全く活用できない、その他の理由

- ・活用するための導入費が調達できない。
- ・ドローン教材が今はない。
- ・現在、マイクロビットを使用した実習をしていない。
- ・本校のカリキュラムと合わない。

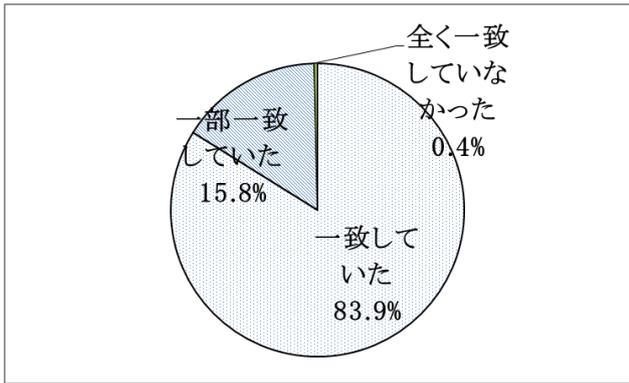
（4）講義用教材について、あなたはどのように感じましたか。



あまり、全く役に立たなかった理由

- ・資料の説明が丁寧で分かりやすかった
- ・構造解析の教材(テキスト等)の提示がなかった。
- ・応用編は難易度が高かった。
- ・金型モデリングについて全く講習されなかった。
- ・オンラインに変更になったが実物を見たかった。

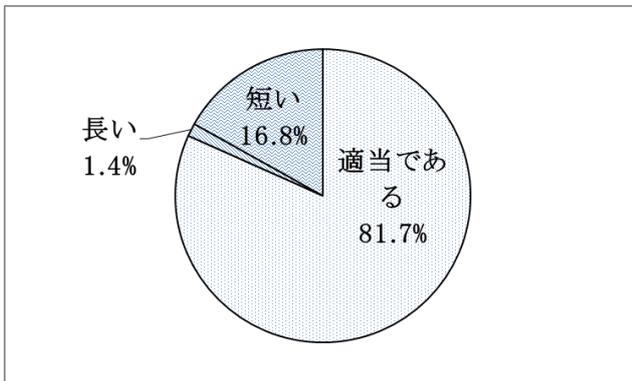
(5) 講義の内容とテーマが一致していましたか。



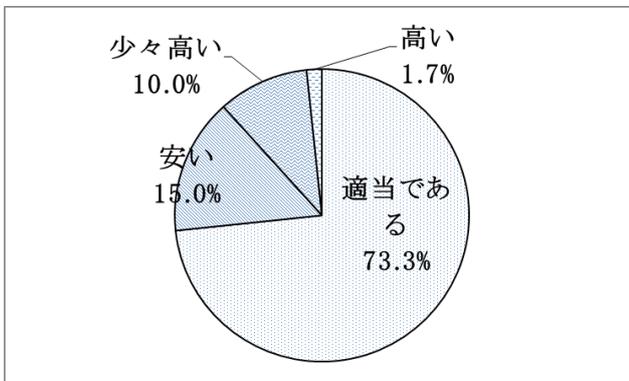
全く一致していなかった理由

- ・SOLIDWORKS の組立や合致のところを詳しく講義して欲しかった。

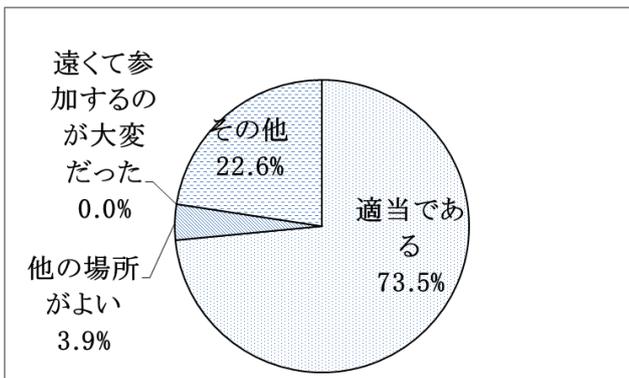
(6) 講習会の期間についてお尋ねします。



(7) 資料代のある講習会は金額と講習内容についてどうですか。



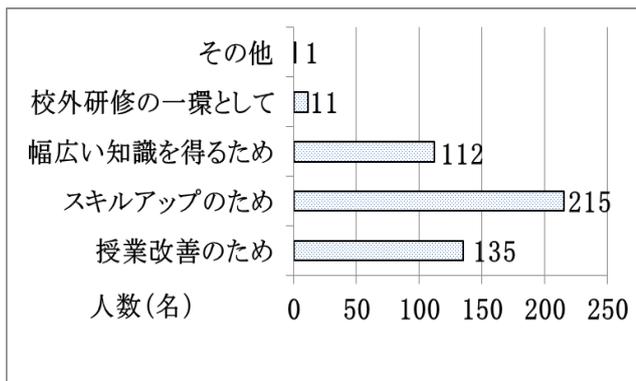
(8) 参加した講習会場の位置についてお答えください。



その他の理由

- ・オンラインで良かった。
- ・初めてのリモート講習だが、とても良かった。
- ・オンラインで非常に分かりやすかった。
- ・リモート・Zoom で勤務校で実施した。
- ・やっぱり対面が良い。
- ・コロナが落ち着いたら対面で参加したい。
- ・オンラインではなく実習が良かった。
- ・駅まで送迎に来てくれて助かった。

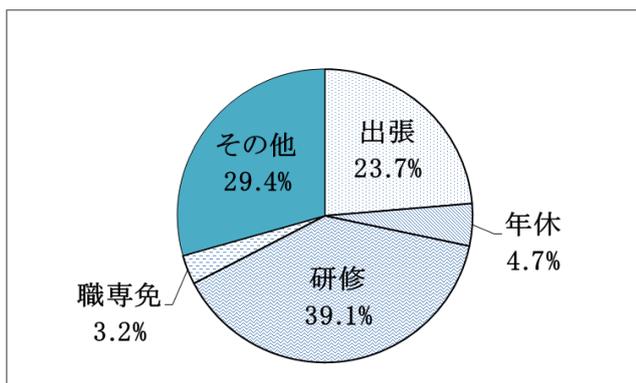
(9) 講習会を受講された動機をお聞かせください。(設問に対する複数回答あり)



その他の理由

- ・自作の設計回路をプリント基板で実装したので。

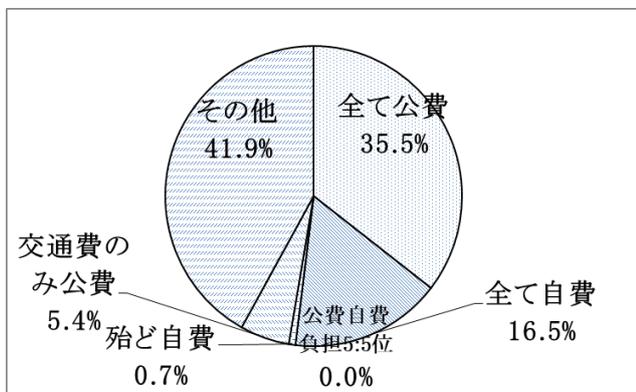
(10) 講習会参加の勤務の取り扱いについて。



その他の理由

- ・オンラインで通常勤務・出勤時間
- ・オンラインで在宅勤務
- ・Zoom で通常勤務。校内研修。
- ・校内研修扱い
- ・勤務時間の変更

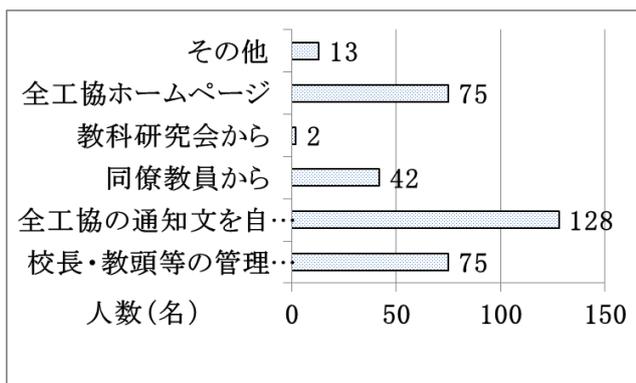
(11) 講習会の費用はどうされましたか。



その他の理由

- ・交通費のみ自費
- ・費用はかからなかった
- ・オンラインなので無料
- ・自宅研修・費用なし
- ・Zoom のネットワーク代のみ自己負担
- ・自校で実施(無料)
- ・県内工業系高校教職員による研究会

(12) 講習会を受講するに当たり、どこから情報を得ましたか。(設問に対する複数回答あり)



その他の理由

- ・校内の案内文をみて
- ・協賛企業からの紹介
- ・毎年受講している
- ・校内回覧版。実行委員から知っていた

(13) 意見

①どんな講習会を希望するか

- ・ロボット競技会・ものコンの指導講習会
- ・3DCAD/3D プリンターによるものづくり
- ・ドローン公認指導員養成講習会
- ・AIやIoTに関する講習会
- ・シングル・ワンボードマイコンの電子工作
- ・SOLIDWORKS (CSWA・CSWP) の講習会
- ・建設重機・建設現場研修・大工技能講習会
- ・技能検定・国家資格検定試験の指導講習会
- ・オンライン講習会(オンデマンド含む)の充実

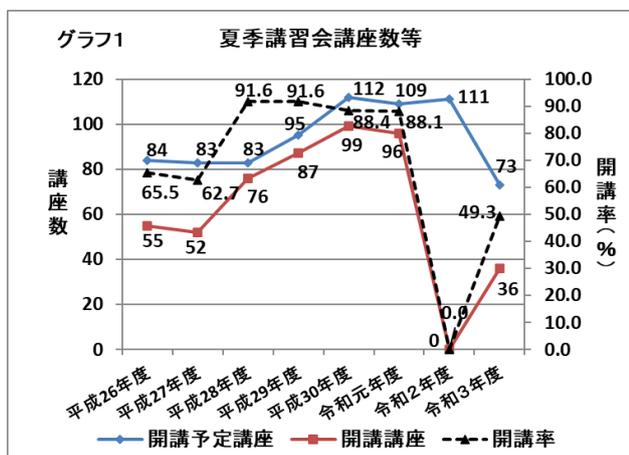
②全工協会で取り組んで欲しい活動等

- ・夏季講習会以外の冬季・土日の講習会の開催
- ・機械工作実習の年間の講習会
- ・最新・最先端技術を活用した工場見学と講義
- ・教材費や出張旅費の自費負担の解消
- ・新学習指導要領に基づく学習指導案の作成
- ・工業専門教科の指導の参考書の発行
- ・学校間交流や情報交換会等の実施
- ・中学校進路指導担当教員が参加できる講習会
- ・工業高校のPR。設置自治体への学校存続の運動

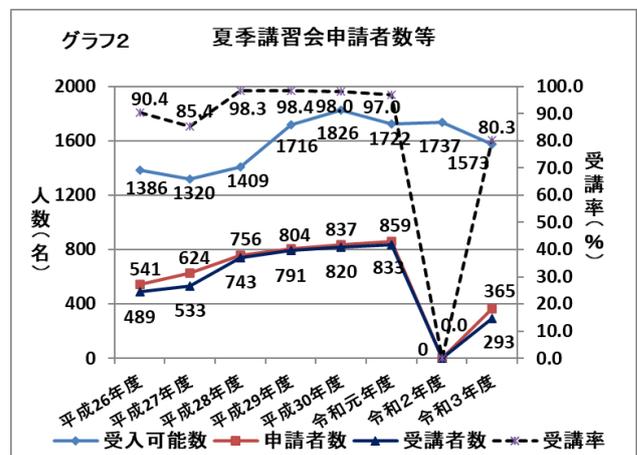
(14) 夏季講習会の開講率と受講率

下図のグラフ1・2の折れ線グラフは、「夏季講習会の講座数・申請者数等」の過去8年間の推移である。平成28年度から、関係者の努力により開講率・受講率が飛躍的に向上し、年々、講座数・受講者数が増加傾向にあった。

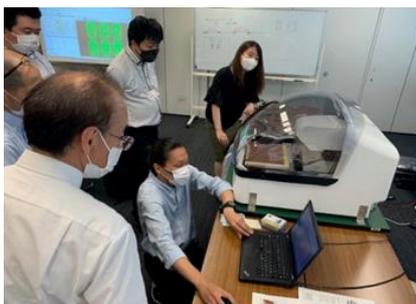
しかし、新型コロナウイルス感染症拡大をうけて、令和2年度は中止となり、令和3年度は年度当初の開講予定講座数は82講座だったが、中止した協賛企業が多く、開講予定講座数は73講座と減少し、受入予定受講者数は1,573名でスタートした。その後、開講は36講座に減少し、最終的には365名が受講を希望し、開講率は49.3% 受講率は80.3%であった。非常に残念な結果となったが、現在、東京都内の一日の新規感染者数が30人を下回ることが何週間も連続しており、来年こそは、正常に講習会が開催されることを祈っている。



開講率 = 開講講座 / 開講予定講座 × 100



受講率 = 受講者数 / 申請者数 × 100



夏季講習会風景 (プリント基板作成)



次年度も夏季講習会よろしくお願ひいたします。

